

対馬釜山事務所だより

チョマル ザル ブルロヨ!!!

(歌が本当に上手いです。)



CDショップから流れる宇多田ヒカルやMISIAの歌声を聞いて、ふっと周囲を見回します。ハングル(韓国語)の看板。そうです。ここは韓国釜山に間違いない。

韓国で日本大衆文化が開放されてから、およそ6ヶ月がたちました。日本CDを手に入れることは勿論、テレビの有線では日本ドラマも放映されています。ある韓国の歌手は日本語のラップを歌に盛り込むなど、日本文化の進出があっちこっちに見ることができます。

今年の日本文化開放を記念して、対馬市が在釜山日本領事館と共催で、去る6月19日、

慶星大学のコンサートホールにて、第1回日本歌謡大会を開催しました。

本大会の出場は、1次審査を通った17チームで、高校生から社会人まで参加者の年齢も様々でした。

友達4人で踊りながら歌うチーム、独り声量豊かにそれを誇示する人、先輩と後輩で仲良く歌うチーム、学校のクラス全員が出演したような元気のいいチーム(なんと9人組!)などなど。エントリーナンバー1の女性4人組から最後の17番が終わるまで、目を放せない踊りぶりや吸い込まれるような迫力のある声に聞き惚れ、あっという間に過ぎた2時間半でした。

台風が近づく大雨の中で、300名を超える観客も集まり、熱気いっぱいの大会でした。友達の出番になったら、「××高校、ファイト!!!」「大学の歌手、頑張れ!!!」などの掛声やプラカードを持った観客席も面白かったです。

いよいよ、審査が終わり、最優秀賞から人気賞までの各発表が告げられる時になると、一気に緊張感が漂いました。

人気賞はミミ国の天使達。。。。

《参加人数で断然トップの、ボーカル2人以外、7人が浴衣をまとい日本踊り(?)を見せました。》

奨励賞は、朴嘉英さん、李智愛さん、高3シスターズ。。。。

《順に、ソロで歌った高校生、大学生、そして二人組みの高校生でした。》

優秀賞は11番、BOAのDoubleを歌ったアジサイチーム!》

《4人で参加し、1人が歌いその4人全員が踊ったチーム、その踊りと歌の上手さ!!!》

最優秀賞は16番のCHEMISTRYのIt Takes Twoを歌ったK・Sです。

《男子高校生二人組みで、大学も音楽科を目指しているくらいの抜群の腕、CHEMISTRYに匹敵するほどでした》

受賞には在釜山日本領事館の阿部総領事と対馬市を代表して木谷助役が、賞状とトロフィーそして賞品として対馬の真珠を渡しました。そして、奨励賞から最優秀チームまで対馬招待もします。

音楽は万国共通の言語とも言います。日韓の平和時代を生み出した対馬で、音楽による未来を語り合ってみましょう。

金 京一、辛 恩京